



SD エポプライマーHB 製品説明書

一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント

SDエポプライマーHB ホワイト

SDエポプライマーHB グレー (N-7.5)

SDエポプライマーHB ダークグレー

JPMS 28 適合品

Instruction Manual for SD エポプライマーHB

SD エポプライマーHB は、公共建築標準仕様書におけるJIS K 5629鉛酸カルシウムさび止めペイントの代替製品で、鋼製シャッター・ドア等向け一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイントです。

1. 特徴

- ① JPMS28規格に適合しています。
- ② ホルムアルデヒド放散等級区分 F☆☆☆☆(日塗工登録番号:R01168)
- ③ 乾燥が速く、耐ブロッキング性に優れています。また、上塗り塗装までのインターバルが短い速乾型塗料です。
- ④ 膜厚が付きやすく、塗料タレを起こしにくい設計となっています。
- ⑤ 亜鉛メッキ鋼板、クロメート処理鋼板、ノンクロメート処理鋼板など様々な素材への付着性に優れています。
- ⑥ 防錆性に優れています。
- ⑦ ラッカーシンナーに可溶。(当社ラッカーシンナー以外を使用される場合は事前にご確認ください)
- ⑧ 有害重金属(鉛・クロム)を使用していない環境負荷低減塗料です。RoHS・ELV規制対応塗料。
- ⑨ 臭気を抑えた設計にしています。

2. 主な用途

鋼製建具(ドア・ドア枠・シャッター) 等

3. 製品名・品番 (容量/荷姿)

SDエポプライマーHB ホワイト	051-2509 (16kg/石油缶)
SDエポプライマーHB グレー(N-7.5)	051-2510 (16kg/石油缶)
SDエポプライマーHB ダークグレー	051-2513 (16kg/石油缶)
ロックホールドシンナー (速乾型)	012-4160 (16L/石油缶)
ロックホールドシンナー (冬型)	012-4161 (16L/石油缶)
ロックホールドシンナー (標準型)	012-4162 (16L/石油缶)
ロックホールドシンナー (静電型)	012-4163 (16L/石油缶)
ロックホールドシンナー (夏型)	012-4164 (16L/石油缶)
ラッカーシンナー	016-5123 (16L/石油缶)

4. 適応上塗り

合成樹脂調合ペイント、フタル酸樹脂エナメル、弱溶剤系ポリウレタンエナメル、弱溶剤系アクリルシリコン樹脂エナメル、弱溶剤系常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル、遮熱塗料(弱溶剤二液型 NAD アクリルシリコン樹脂)など

Instruction Manual for SD エポプライマーHB

5. 塗料性状

項目	試験方法	規格
粘度	ストーマー粘度計(KU/20°C)	90~100
加熱残分	JIS K 5601 1-2(wt %)	61~65
比重	JIS K 5600 2-4	1.39~1.43

6. ラベル表示

項目	製品	SDエポプライマーHB ホワイト グレー(N-7.5) ダークグレー	ロックホールドシンナー 速乾型	ロックホールドシンナー 冬型	ロックホールドシンナー 標準型
危険物表示	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂塗料用シンナー			
	第二石油類	第一石油類	第一石油類	第一石油類	第二石油類
危険等級	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ
有機溶剤区分	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等
特化則該当物質	エチルベンゼン		メチルイソブチルケトン	エチルベンゼン メチルイソブチルケトン	

項目	製品	ロックホールドシンナー 静電型	ロックホールドシンナー 夏型	ラッカーシンナー (016-5123)
危険物表示	合成樹脂塗料用シンナー	ラッカーシンナー		
	第二石油類	第一石油類		
危険等級	Ⅲ	Ⅱ		
有機溶剤区分	第2種有機溶剤等	第2種有機溶剤等		
特化則該当物質	ナフタレン	ナフタレン		

Instruction Manual for SD エポプライマーHB

7. 標準塗装仕様

塗装方法	エアスプレー塗装	エアレススプレー塗装	エア静電塗装
使用シンナー	ロックホールドシンナー 速乾型・冬型・標準型・静電型 ラッカーシンナー(016-5123)		ロックホールドシンナー 標準型・静電型
希釈割合	20～45 部	15～25 部	25～45 部
塗装粘度 IWATA CUP 秒/20°C	15～25 秒	25～35 秒	15～20 秒
乾燥時間(20°C)	指触乾燥:5 分～10 分 半硬化乾燥:15 分 硬化乾燥:15～20 分		
塗り重ね時間(20°C) (上塗り塗料)	10 分以上 90 日以内		
標準膜厚	30～40 μm		
理論塗布量	100～130g/m ²		

乾燥時間(20°C)、塗り重ね時間(20°C)は、ロックホールドシンナー(冬型)を使用した際の時間。

上記シンナーの希釈割合・塗装粘度は標準条件ですので、塗装条件(塗装機・気温・ライン特性等)によって異なります。

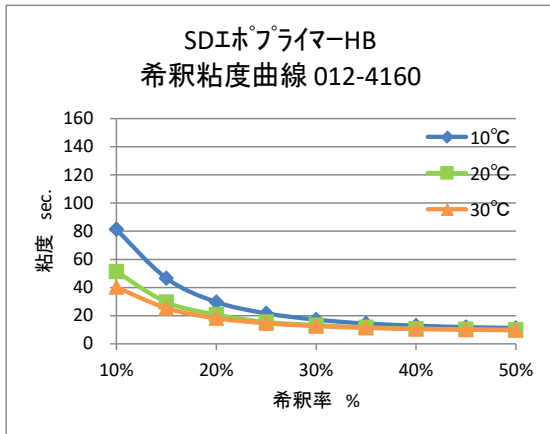
※被塗物が高温等で乾燥を遅くする場合、ロックホールドシンナー(夏型)を使用して下さい。

ロックホールドシンナー(夏型)を使用する場合、強制乾燥(80°C×20 分程度)をして下さい(自然乾燥の場合、乾燥に長時間を要します)。

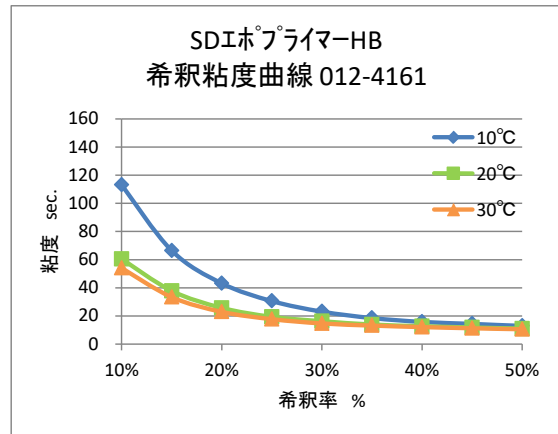
Instruction Manual for SD エポプライマー-HB

8. 希釈-粘度曲線

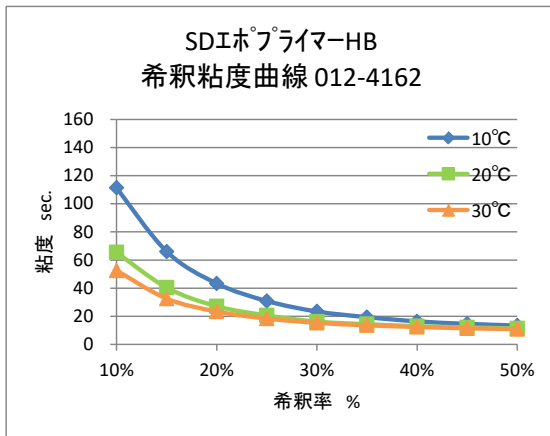
ロックホールドシンナー(速乾型) 012-4160



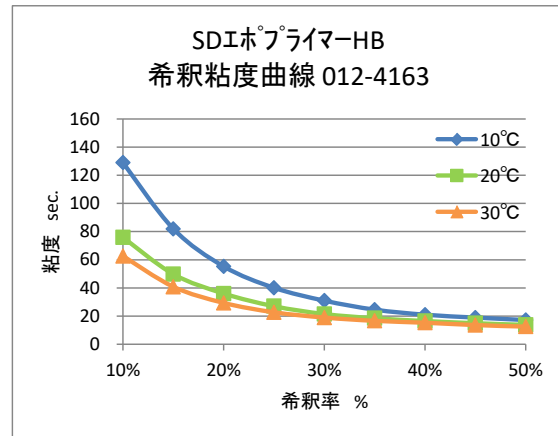
ロックホールドシンナー(冬型) 012-4161



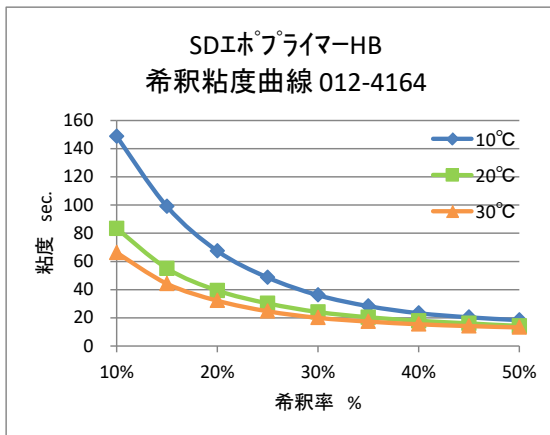
ロックホールドシンナー(標準型) 012-4162



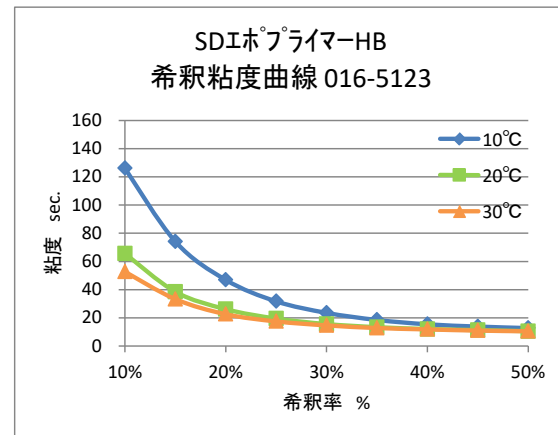
ロックホールドシンナー(静電型) 012-4163



ロックホールドシンナー(夏型) 012-4164



ラッカーシンナー 016-5123



Instruction Manual for SD エポプライマーHB

9. 塗膜性能

日本塗料工業会規格 JPMS28 一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント規格に基づく試験

項目	品質	試験結果
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になる	合格
塗装作業性	支障がない	合格
表面乾燥性	表面乾燥する	合格
塗膜の外観	正常である	合格
上塗り適合性	支障がない	合格
付着安定性	はがれを認めない	合格
耐塩水性	異常がない	合格
付着性	異常がない	合格
屋外暴露耐候性	屋外暴露耐候性試験に耐える	合格

Instruction Manual for SD エポプライマーHB

10. 塗装上の注意事項

1. 素材

- ① 錆、油汚れ等を完全に除去し、素地調整を十分に実施して下さい。
- ② 事前に塗装性・付着性をご確認下さい。

2. 塗料調整および溶剤

- ① 使用時には缶の底からよくかき混ぜ、均一な塗料状態にして使用して下さい。
- ② 溶剤はロックホールドシンナー各種・ラッカーシンナー(016-5123)を使用して下さい。
上記シンナー以外では、溶解しないことがあります。

3. 上塗り可能時間

10分以上(20°C)90日以内に上塗り塗装を行って下さい。但し90日を超える場合は、サンディングを行って下さい。

4. 塗装後の部材

- ① 水に濡れると部分的に変色することがありますので、ご注意下さい。
- ② 水付着環境が継続した場合、上塗り塗料との密着不良を起こすことがありますので、ご注意下さい。
- ③ 屋内で保管して下さい。長期間屋外に置いておくとチョーキングを起こすことがありますので、ご注意下さい。

5. その他

- ① 気温5°C以下、湿度85%以上での塗装はさけて下さい。
- ② 上塗り塗装時は塗膜状態を確認し、ゴミ、ホコリ等の付着物がある場合は、サンディングを行って下さい。サンディングにより膜厚が薄くなった場合は、下塗り塗料を再塗装して下さい。
- ③ 塗替えの際、ラッカー塗料など強溶剤系塗料を使用しますと、旧塗膜を侵しチヂミなどが発生する恐れがありますので、ご注意下さい。

Instruction Manual for SD エポプライマーHB

●資料記載情報についての注意

1. 弊社で万全を期して行った試験に基づくものであり、保証値ではございませんので、ご使用に際しましては、事前に十分な確認を実施の上ご使用下さい。
2. 製品の改良等により予告無しに記載データ、数値等の変更をさせて頂く場合がございますが、改良・変更等により生じた如何なる損害に関しましても当社は責任を負わないこととします。
3. 実際の使用結果並びに特許上の権利を保障するものではございません。

●取り扱いおよび保管上の注意

1. 取扱い作業は火気の無い所で行ない、局所排気装置を取付けて下さい。
2. 建築現場など屋内塗装を行う場合は塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸込まない様にして下さい。
3. 取扱い中は出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを付け、更に頭巾、防護めがね、長袖の作業衣、襟巻きタオル、保護手袋等を着用して下さい。
4. 取扱い後は、手洗い、うがい及び鼻孔洗浄を十分に行い作業衣等に付着した汚れをよく落して下さい。
5. よくふたをし、5℃以上、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管して下さい。
6. 塗料の付着したウエスや塗料カス、スプレーダストなどは廃棄するまでは水につけておいて下さい。
7. 容器は中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 廃棄する際は産業廃棄物として認可業者に処理を委託して下さい。
9. 本来の用途以外に使用しないで下さい。
10. 指定された以外の材料と混合しないで下さい。

●緊急時および応急処置

1. 火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
2. 容器からこぼれた場合には、布(ウエス)等で拭きとって水をはった容器に保管して下さい。
3. 皮膚に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は医師の診察を受けて下さい。
4. 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけはやく医師の診察を受けて下さい。
5. 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
6. 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけはやく医師の診察を受けて下さい。

●安全、衛生上の注意

この製品は、有機溶剤や健康に有害な物質を含有しておりますのでご使用の際には上記の注意事項を守って下さい。
なお、詳細につきましては製品容器記載のPL法関連事項と安全データシート(SDS)をご参照下さい。